

2026年4月24日

各位

会社名 ダイト株式会社
代表者名 代表取締役社長兼CEO 松森 浩士
(コード:4577 東証プライム市場)
問合せ先 執行役員CFO(最高財務責任者) 大津賀 健史
(TEL 076-421-5665)

ダイトが他2社と設立予定の共同出資会社による 杏林製薬の後発医薬品事業の承継に関する基本合意書の締結について

ダイト株式会社（本社：富山県富山市、代表取締役社長兼CEO：松森浩士、以下「当社」）は、杏林製薬株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長CEO：荻原豊、以下「杏林製薬」）との間で、当社が他2社と新たに設立予定の株式会社医薬品共創機構（仮称、以下「共創機構」）が、杏林製薬の連結子会社で後発医薬品事業を営むキョーリン リメディオ株式会社（本社：石川県金沢市、代表取締役社長：橋爪浩、以下「本件対象会社」）、及び同社の生産機能を担う連結子会社であるキョーリン製薬グループ工場株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中村健一）の高岡工場及び井波工場（以下、「本件対象工場」といい、本件対象会社と合わせて「本件対象事業」）を承継することについて、具体的な協議を進める旨の基本合意書を締結いたしましたので、お知らせいたします。

本件の目的

当社は2024年7月に公表した中期経営計画「DTP2027」において、事業戦略の柱の1つに「既存ビジネスの効率化」を掲げ、社長直轄の「ポートフォリオマネジメント部」の立ち上げや、既存品の価値向上や規律ある選択と集中を目的とした「ライフサイクルマネジメント会議」の発足、更には他社と重複する品目の製造所集約や品目統合に関する相対での協議や、それを複数企業間で纏める「新・コンソーシアム構想」の実現に向けた協議などの各種施策を進めてまいりました。またDTP2027における「資本配分方針」として、DEレシオ（負債資本倍率）で0.4倍程度までの負債活用を想定しながら、「ジェネリック医薬品の安定供給体制の強化のためのアライアンス」に資本配分する検討方針を掲げ、長引く供給不安の早期解決と、「研究開発型のCMO企業」としての当社の事業基盤の強化に向けて、異業種も含めたパートナーリングの在り方を検討してまいりました。

こうした中、この度、高い研究開発力と堅牢な品質保証体制、少品種大量生産に適した効率的な製造能力を有する杏林製薬の本件対象事業について、当社が中心となり他2社と共に設立予定の共創機構が承継することについて、具体的な協議を進めることで基本合意し、DTP2027で掲げた経営戦略を更に力強く推進することといたしました。

(仮称) 株式会社医薬品共創機構の概要について

共創機構は、後発医薬品業界における「供給不安の早期解消」と「持続可能な事業基盤の確立」を目的に、バリューチェーンの上流（研究開発やサプライチェーン、製造、品質保証）を軸とした安定供給体制の高度化を目指すプラットフォームであり、当社が過半を超えない最大出資者として他2社との共同出資により設立される予定です。共創機構は、政府が後押しする製造販売承認や屋号の統合についても目指す方針であり、当社は国内自給率の低下が続く原薬の本邦トップクラスの研究開発力や供給力、並びに30年以上に亘りFDA認証を取得する高度な品質水準を付加価値として提供し、他2社及び本件対象事業に従事する皆さまと共に、社会課題の解決と競争力の強化に取り組みます。

本件対象事業の概要

1. 本件対象会社

(1) 名 称	キョーリン リメディオ株式会社			
(2) 所 在 地	石川県金沢市諸江町下丁 287 番地 1			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 橋爪 浩			
(4) 事 業 内 容	医薬品の製造販売等			
(5) 資 本 金	100 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	1947 年 10 月 15 日			
(7) 大株主及び持株比率	杏林製薬株式会社 (100.0%)			
(8) 当社と当該会社の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	当社は、当該会社との間に原薬の供給及び製剤の製造委受託の関係を有します。		
	関連当事者への該当状況	当該会社は、関連当事者に該当しません。		
(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2023 年 3 月期	2024 年 3 月期	2025 年 3 月期
純 資 産		6,538 百万円	6,010 百万円	5,490 百万円
総 資 産		22,820 百万円	21,284 百万円	23,710 百万円
売 上 高		32,919 百万円	31,622 百万円	34,285 百万円
経常利益又は経常損失(△)		719 百万円	△501 百万円	△784 百万円
当期純利益又は当期純損失(△)		528 百万円	△398 百万円	△519 百万円

(注) キョーリン リメディオ株式会社は、本件承継に先立ち、承継範囲の調整のために一部資産等の調整取引をキョーリン製薬グループ工場株式会社と実施する予定ですが、詳細については杏林製薬と今後協議予定です。なお、(9) 当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態については、当該調整取引前のキョーリン リメディオ株式会社の数字を記載しております。

2. 本件対象工場

キョーリン製薬グループ工場株式会社 高岡工場	
(1) 所在地	富山県高岡市 IC パーク 8 番
(2) 面積	42,457 m ²
(3) 工場設立	2024 年
(4) 従業員数 (2025 年 3 月)	37 人

キョーリン製薬グループ工場株式会社 井波工場	
(1) 所在地	富山県南砺市井波 885 番地
(2) 面積	18,296 m ²
(3) 工場設立	1975 年
(4) 従業員数 (2025 年 3 月)	169 人

(参考)

(1) 名称	キョーリン製薬グループ工場株式会社
(2) 所在地	東京都千代田区大手町 1 丁目 3 番 7 号
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 中村 健一
(4) 事業内容	医薬品の製造及び試験等
(5) 資本金	350 百万円
(6) 設立年月日	2017 年 10 月 2 日
(7) 大株主及び持株比率	杏林製薬株式会社 (100.0%)

今後のスケジュール

(1) 取締役会決議日	2026 年 4 月 24 日
(2) 基本合意書締結日	2026 年 4 月 24 日
(3) 最終契約締結日	2026 年 9 月末 (予定)
(4) 承継実行日	2027 年 4 月 1 日 (予定)

今後の業績見通し

当期の連結業績に与える影響は現時点で認識しておりませんが、中長期的な業績への影響については、最終契約締結後、改めて開示いたします。

以上

<p>お問い合わせ先 ダイト株式会社 経営企画部 電話 : 076-421-8755</p>
--

ダイト株式会社について

ダイト（本社：富山県）は、医薬品の原料である原薬および製剤の2つの柱を研究開発から製造まで一貫してグローバルに取り組む製薬企業です。1942年の創業以来、医療用・一般用医薬品の原薬・製剤を製造・販売し、国内9割以上の医薬品企業と取引実績を上げています。

詳しくは Web サイト(www.daitonet.co.jp)を参照ください。



杏林製薬株式会社について

杏林製薬（本社：東京都）は、「キョーリンは生命を慈しむ心を貫き、人々の健康に貢献する社会的使命を遂行します。」という企業理念に基づき、医療ニーズに応える価値の高い新薬を継続的に提供し、人々の健康に幅広く貢献する企業となることを目指しています。創薬研究領域として疼痛・自己免疫疾患・神経筋疾患に注力し、営業面においては呼吸器科、耳鼻科、泌尿器科を中心とする特定領域にリソースを集中する FC（フランチャイズ・カスタマー）戦略を展開しています。

詳しくは Web サイト(<https://www.kyorin-pharm.co.jp/>)を参照ください。

